

旭市と「天保水滸伝」

旭市ひかた市民センター
あさひ文化財展示室
千葉県旭市南堀之内10

江戸時代末期の千葉県旭市と香取郡東庄町を舞台にした「天保水滸伝」は、実際に起こった事件をモデルに創作された大衆娯楽作品です。歌舞伎や講談・浪曲・映画などで全国的に有名になると、現地でも登場人物を改めて評価する動きが活発となり、近年ではゆかりの地に記念碑も建立されています。事件発生から180年の時を経て、今は旭市の大きな歴史魅力の一つとなった「天保水滸伝」について紹介します。

1 天保水滸伝とは

「天保水滸伝」は幕末の利根川下流域を舞台に、博徒たちの抗争を描いた大衆芸能作品で幕末から昭和にかけて日本中に広まりました。この物語は実際に起こった天保15年(1844)の笹川河岸の騒動と嘉永2年(1849)の勢力一件がモデルとなっています。当時の旭市周辺を仕切っていた飯岡村(旭市)の十手持ち石渡助五郎は、笹川河岸(東庄町)を拠点としていた博徒岩瀬繁蔵の一味を捕まえようと、天保15年(1844)8月6日、大勢の捕り手を従えて笹川に向かいました。しかし繁蔵らの激しい抵抗により捕縛は失敗し逃げられてしまいます。その3年後、繁蔵は何者かに暗殺されてしまいますが、繁蔵の一の子分だった勢力佐助が仲間を集めて悪事を働くようになり、嘉永2年(1849)に再び笹川周辺をはじめ広範囲に及ぶ大規模な捕り物が行われました。追い詰められた勢力たちは小南村(東庄町)の金毘羅山



芳虎「笹川の髭蔵競力富五郎と計り飯岡捨五郎を襲う図」
慶応3年(1867)

笹川繁蔵の一味が安宅にいる飯岡助五郎を襲った場面、画面中央で角材を振り回しているのが笹川方の勢力富五郎。この時、助五郎は左側の窓から逃れることができ、笹川方へ仕返しを窺うこととなる。このあと物語は大利根河原への決闘へと展開していく。

に立て籠もり、鉄砲で抵抗したものの最期は自殺し、子分らも一斉に捕まります。この大捕り物が江戸へ伝わると、利根川という水辺で博徒たちが幕府役人らに抵抗する姿が中国の水滸伝に通じることから、やがて「天保水滸伝」として講談や歌舞伎などの作品に仕立てられました。その後、各時代の世相に合わせさまざまな物語が作られました。

2 幕末の旭市周辺～天保水滸伝の時代～

江戸時代終わりの19世紀半ばの東下総地方は、利根川水運の繁栄や九十九里浜の鰯の豊漁を背景に活発な経済活動が行われていました。特に河岸や港などの集落には大勢の働き手が集まり、遠方からの商人が行き交うなど、村の中の町場として賑わいました。その一方で無宿や浪人など身元の怪しい人々も集まり、治安の乱れが社会問題にもなっていました。天保水滸伝の舞台の一つ飯岡村もそのような場所でした。九十九里浜北端の飯岡村では地曳網による大規模な鰯漁が行われ、そこで生産され

天保水滸伝の舞台(刑部岬から飯岡浜・干潟八万石の遠景)
手前には鰯漁で賑わった飯岡集落が広がり、その先には干潟八万石の水田地帯、右側には下総台地が延びておりそこを越えて利根川へ続く街道がいくつも通じている。



た干鰯やべ粕などの魚肥は、利根川水運によって江戸や北関東へと運ばれました。そうした荷物の集積地となったのが利根川へと続く街道沿いの村々で、万歳村（旭市）などは宿場的な要所として発達しました。魚肥の生産地である飯岡村と集積地の万歳村、積み出し地の笹川河岸は一連の流通網の中にあったわけです。町場ではさまざまな利権が絡む問題が発生し、そうした問題を調整するには行政的な名主役ではなく多方面に顔が利く親分的な人物が重宝され、助五郎は地域を仕る顔役として存在力を高めていきました。

3 飯岡助五郎

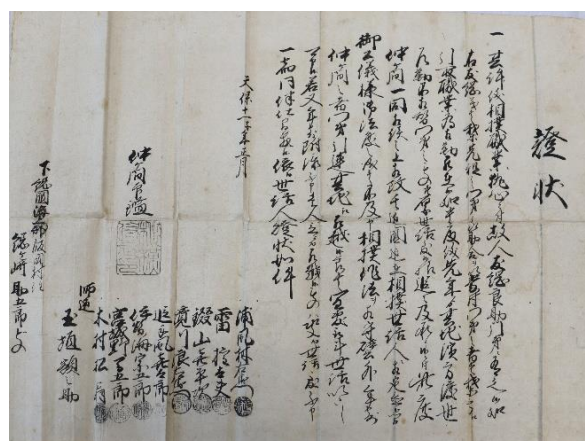


飯岡助五郎
(芳年『近世俠義伝』)

助五郎を相撲世話人に任命する証状 天保11年（1840）

江戸相撲の力士たちが助五郎が日ごろから世話をしていることから、江戸の相撲仲間が助五郎を近国近在の相撲世話人に任命している。宛名の綱ヶ崎は助五郎のかつての四股名である。

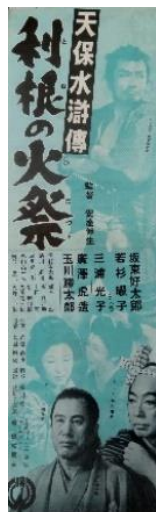
（内容）助五郎は故友綱良助の門弟であり、浜方渡世をしながら門弟の者を厚く世話してくれている。よって相撲仲間と相談し、助五郎を近国近在の相撲世話人に任命することとした。今後は公儀の御法度はもちろん、相撲の作法を守り、また相撲取りが訪ねていった際は厚く世話をしてあげて欲しい。ただし一人で廻っている身元不明な力士らには世話する必要はないので、それを守ること。



4 天保水滸伝の流行

幕府の捕りに鉄砲など武力で抵抗した勢力たちの一件は各地へ広まります。そのため天保水滸伝では、当初は勢力佐助が主人公になっていました。この話題に興味を持った江戸の講談師が現地取材をするなかで、勢力一件の五年前に起こった勢力の親分繁蔵の捕縛騒動も注目されるようになり、それが笹川の博徒と飯岡の十手持ちの抗争に仕立てられていきました。やがて「天保水滸伝」は歌舞伎の演目としても好評となり、人気役者の錦絵も売り出されます。近代以降は演劇や映画でも上演され、昭和初期にはラジオの普及とともに、二代目玉川勝太郎の浪曲「天保水滸伝」が「利根の川風」たもとに入れて、月に掉さす高瀬船」という外題付けで大流行し、全国へ

映画「利根の火祭」
昭和27年（1952）大映



広まっていきました。その後、笹川周辺へ剣術修行に来ていた平田三亀や香取郡で活動していた大原幽学も登場するなど物語の幅は広がり、とくに飯岡方の用心棒として登場した座頭市は、主人公としてシリーズ化される大きなテーマとなりました。今では登場人物が現代風な金髪姿となったアニメ版「天保水滸伝」も制作されています。



笹川繁蔵（左）・勢力富五郎（右）（芳年『近世俠義伝』）
繁蔵は香取郡須賀川村（東庄町）の生まれで、同郡羽計村（東庄町）で醸造業を営む七左衛門の弟として記録に見える。江戸相撲を辞めてからは笹川河岸周辺で幅を利かせていた。一の子分だった勢力は、万歳村出身で江戸相撲を辞めて無宿となり繁蔵のもとで仲間たちとたむろしていた博徒だった。

笹川方の三士の碑（東庄町笹川延命寺）
左から勢力・繁蔵・平手の碑。玉垣には映画会社などの名が見える。繁蔵碑は明治7年、他は昭和3年の建立

清滝佐吉伝承碑（旭市清滝）

物語では笹川方の一人として登場する。実際には嘉永2年（1849）5月の勢力一件で捕縛され、江戸に送られて獄門となった。160回忌に当たる平成21年（2009）に清滝佐吉伝承会が建立した。



飯岡助五郎の碑
（旭市飯岡玉崎神社）
昭和4年（1929）建立

洲崎政吉

（芳年『近世俠義伝』）
物語では助五郎の名代を務めるなど飯岡方の中心的人物であり、笹川の騒動で亡くなった。

座頭市物語の碑（旭市萩園）

下母沢寛『座頭市物語』は飯岡の古老から聞いた話として、助五郎のもとに市という盲目の剣の達人がいたことを紹介している。座頭市はその後、映画の人気シリーズになっていく。物語の誕生50周年を機に建立委員会と観光協会が平成22年5月に建立した。

【凡 例】 資料は
大原幽学記念館所蔵、撮影・執筆は同館調査員米谷博が担当した

【参考文献】

- ・野口政司『実録天保水滸伝』天保水滸伝遺跡保存会 昭和48年（1993）
- ・伊藤實『飯岡助五郎』崙書房 昭和53年（1978）
- ・千葉県立大利根博物館『特別展 天保水滸伝の世界』千葉県立大利根博物館 平成5年（1993）
- ・千葉県史料研究財団『千葉県の歴史 通史編近世2』千葉県 平成20年（2008）
- ・高橋敏『大原幽学と飯岡助五郎』山川出版社 平成23年（2011）

天保水滸伝関連年表

年	西暦	事 項
寛政 9 年	1797	飯岡助五郎が生まれる
		大原幽学が生まれる
		宮負定雄が生まれる
文化 2 年	1805	関東取締出役が設置される
文化 7 年	1810	笹川繁藏が生まれる
文化 14 年	1817	勢力富五郎が生まれる
文政 10 年	1827	改革組合村が編成される
天保 6 年	1835	笹川繁藏が関東取締出役に捕まる
天保 8 年	1837	大原幽学が香取郡長部村で村の改善指導を始める
天保 11 年	1840	飯岡助五郎は江戸相撲仲間から相撲世話人を命じられる
天保 13 年	1842	笹川繁藏が笹川の諏訪神社に野見宿禰の石碑を建てる
天保 15 年	1844	関東取締出役から笹川繁藏の捕縛令状が出される
天保 15 年	1844	8 月 4 日 笹川繁藏らは飯岡助五郎宅を襲う
		8 月 6 日 飯岡助五郎は笹川繁藏らを捕縛に行くが失敗する 浪人平田深木が死亡する
		8 月 7 日 関東取締出役から香取・海上・匝瑳・武射郡へ繁藏捕縛廻状が出される
弘化 4 年	1847	笹川繁藏死亡(38 歳)、飯岡助五郎の一味が暗殺したといわれる
嘉永 2 年	1849	勢力佐助が追われて小南の金毘羅山(東庄町)で自殺をする
嘉永 3 年	1850	宝井琴凌が『天保水滸伝』(講談)を創作
嘉永 5 年	1852	大原幽学の教導所である改心楼へ関東取締出役の手先が乱入する
安政 5 年	1858	大原幽学切腹(62 歳)
安政 6 年	1859	飯岡助五郎死亡(68 歳)
安政年間		芳年「競勢酔虎伝」(錦絵)
文久 2 年	1862	豊国「近世水滸伝」(錦絵)
元治 1 年	1864	芳虎「近世水滸伝」(錦絵)
慶応 3 年	1867	河竹黙阿弥「群清滝鼯鼠勢力」(歌舞伎)
		国周「群清滝鼯鼠勢力」(錦絵)
明治 7 年	1874	金毘羅山(東庄町)に勢力富五郎の石碑が建てられる
		笹川延命寺(東庄町)に繁藏の妻高橋豊子が笹川繁藏の碑を建てる
明治 8 年	1875	河竹黙阿弥「夜講釈勢力譚話」(歌舞伎)
明治 18 年	1885	笹川の西福院(東庄町)に繁藏の墓が建てられる
明治 21 年	1888	高木為鎮『天保水滸伝』文笑堂
明治 24 年	1891	番付「近世侠客有名鏡」発行
明治 32 年	1899	石川一口口演『勢力民五郎』(講談本)
大正 3 年	1914	日活映画「天保水滸伝」(牧野省三監督)
昭和 3 年	1928	笹川延命寺(東庄町)に平手造酒、勢力富五郎の碑が建てられる
昭和 4 年	1929	飯岡玉崎神社(旭市)に助五郎の碑が建てられる
昭和 4 年	1929	正岡容「天保水滸伝」(浪曲)を創作、二代目玉川勝太郎の公演で大流行
昭和 8 年	1933	飯岡の定慶寺(旭市)に笹川繁藏の首塚が建てられる
昭和 14 年	1939	田端義夫「大利根月夜」(歌謡曲)の流行
昭和 34 年	1959	三波春夫「大利根無情」(歌謡曲)の流行
昭和 37 年	1962	東庄町で天保水滸伝 130 年祭を挙行
		伊藤實『実説天保水滸伝』
		大映映画「座頭市物語」(三隅研次監督)
昭和 51 年	1976	大映映画「天保水滸伝」(山本薩夫監督)
昭和 60 年	1985	「必殺仕事人以外伝～大利根ウェスタン月夜」(TV 時代劇)
平成 1 年	1989	飯岡・海上・東庄の 3 町で天保伝が始まる

旭市と「天保水滸伝」解説シート Vol. 1

発行日 令和 7 年 (2025) 6 月 20 日

編 集 大原幽学記念館 〒289-0502 千葉県旭市長部 345-2 TEL 0479-68-4933

発 行 旭市教育委員会生涯学習課文化振興班 旭市ニの 2132 (市役所 4 階) 0479-85-8628